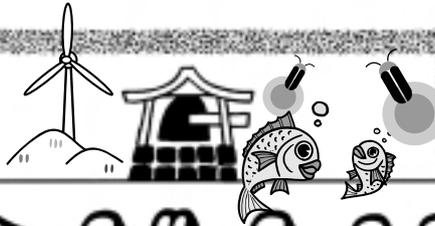




のべおか



市議会だより

第47号

平成23年 5月 1日発行
(2011年)

発行:延岡市議会
編集:議会報編集委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1
TEL (0982) 22-7029



— 来春完成予定の新悠久苑（完成予想図） —

3月定例会の概要

3月定例会は、3月1日に招集され、3月25日までの会期で行われました。

今議会で審議された議案等は、平成23年度延岡市一般会計当初予算をはじめとする各会計当初予算、平成22年度一般・特別会計の補正予算、副市長の選任、延岡市一般職職員給与条例及び延岡市職員の定年等に関する条例の改正や、下水道、消防団に関する各条例の改正など議案29件と報告1件、意見書2件、請願3件、陳情3件でした。

また、今議会中の一般質問では、各会派の代表7名が代表質問を、その関連質問を4名がそれぞれ行い、3日間にわたり、市長の政治姿勢をはじめ、新庁舎建設や入札制度、まちづくり、農林水産振興、福祉教育問題など、多岐にわたる質疑が活発になされました。

最終日の本会議において、議案をいずれも原案通り可決し、請願1件・陳情1件を採択、請願2件・陳情2件を不採択として閉会しました。

☆主な掲載内容……………(ページ)

- ◆ 3月議会で決まったことなど…………… 2
- ◆ 一般質問…………… 3～5
- ◆ 各常任・特別委員会調査報告など…………… 6～8



平成22年度 3月補正予算一覧表

会計別	補正前	補正額(2次含む)	合計
一般会計	561億1975万6千円	11億1954万9千円	572億3930万5千円
特別会計			
国民健康保険(事業勘定)	162億4355万0千円	△2億3876万8千円	160億0478万2千円
国民健康保険(直営診療施設勘定)	2億0181万0千円	1500万0千円	2億1681万0千円
食肉センター	13万0千円	-	13万0千円
老人保健	406万8千円	-	406万8千円
介護保険	112億1607万5千円	△1320万9千円	112億0286万6千円
後期高齢者医療	13億4747万5千円	△4842万6千円	12億9904万9千円
小計	290億1310万8千円	△2億8540万3千円	287億2770万5千円
企業会計			
水道事業会計	38億3718万8千円	△9306万2千円	37億4412万6千円
下水道事業会計	61億6184万5千円	△616万3千円	61億5568万2千円
小計	99億9903万3千円	△9922万5千円	98億9980万8千円
合計	951億3189万7千円	7億3492万1千円	958億6681万8千円

予算関係

3月議会で決まったこと

平成23年度 当初予算一覧表

会計別	23年度	22年度(当初)	伸び率(%)
一般会計	562億2200万0千円	536億2400万0千円	4.8
特別会計			
国民健康保険(事業勘定)	163億7627万2千円	159億9431万2千円	2.4
国民健康保険(直営診療施設勘定)	-	2億2286万3千円	皆減
食肉センター	13万0千円	13万0千円	0.0
老人保健	-	320万5千円	皆減
介護保険	113億2034万3千円	106億2514万5千円	6.5
後期高齢者医療	13億2921万6千円	13億4476万2千円	△1.2
小計	290億2596万1千円	281億9041万7千円	3.0
企業会計			
水道事業会計	40億8328万9千円	38億4087万4千円	6.3
下水道事業会計	59億8228万3千円	62億1903万3千円	△3.8
小計	100億6557万2千円	100億5990万7千円	0.1
合計	953億1353万3千円	918億7432万4千円	3.7

条例関係

- ◆延岡市副市長の定数を定める条例の一部改正
- ◆延岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ◆延岡市一般職職員給与条例及び延岡市職員の定年等に関する条例の一部改正
- ◆議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ◆延岡市消防団条例の一部改正
- ◆延岡市非常勤消防団員退職報償金支給条例の一部改正
- ◆延岡市都市景観条例の全部を改正する改正
- ◆延岡市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正
- ◆延岡市下水道条例の一部改正
- ◆延岡市浄化槽事業条例の一部改正
- ◆延岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- ◆延岡市職業訓練支援センター条例の制定
- ◆延岡市母子及び父子家庭医療費助成に関する条例の一部改正

人事関係

- ◆副市長の選任(原田幸二氏)

その他

- ◆定住自立圏形成協定の一部変更(高千穂町)

報告

- ◆専決処分報告(車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償額の決定)

意見書

- ◆高病原性鳥インフルエンザの早急な対策を求める意見書
- ◆所得税法第56条の見直しを求める意見書

〔請願・陳情の審査結果〕

件名	審議結果
治安維持法犠牲者への国家賠償法(仮称)制定を求める意見書の提出に関する請願	不採択
米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書の提出を求める請願	不採択
所得税法第56条見直しに関する意見書の提出を求める請願	採択
公共事業の地元業者優先発注について	採択
2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める意見書の提出について	不採択
保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情	不採択



2月臨時会の

報告

2月10日に、第24回臨時会が開かれました。この臨時会で審議された議案は平成22年度延岡市一般会計補正予算など議案3件と報告1件であり、議案については原案どおり可決しました。

議案

- ◆平成22年度延岡市一般会計補正予算(補正額11億703万5千円。内訳は、きめ細かな交付金事業、住民生活に光をそそぐ交付金事業など)
- ◆工事請負契約の締結(新火葬場火葬棟建築主体工事)
- ◆工事請負契約の締結(新火葬場待合棟建築主体工事)

報告

- ◆専決処分報告(車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償額の決定)



関連含め11名の議員が質問

一般質問

三月議会においては、各会派の代表質問が行われ、活発な議論が展開されました。その一部を紹介いたします。

総務財政関係

市長マニフェスト

【問】長期総合計画の後期基本計画を策定中だが、市長のマニフェストをどのような形で反映し、市政発展を目指すのか。

【答】東九州の基幹都市として、都市機能の充実と利便性の向上を図るとともに、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを実現する。

条例改正案

【問】副市長を2人制にする改正案が提案されているが、期限付きなのか無期限なのか説明を。

【答】副市長については、特命担当として、メディアカルタウン構想の推進や企業誘致など、特定のプロジェクトを担当して、早期実現に向け取り組んでいた。大きく



的があり、永続的な体制とは考えていない。

第5次長期総合計画の検証

【問】平成22年度までの前期基本計画に対する達成率等の評価には、庁内だけの自己評価ではなく、外部評価を取り入れるべきと考えるが。

【答】評価の方法については、それぞれの施策を担当する各課を中心に総括を行なっている。これに加えて、後期基本計画の策定にあたり実施した市民意識調査や市民懇談会、さらに現在、諮問している審議会や各地域協議会からの意見等を、外部評価として捉えている。

平成23年度当初予算

【問】予算編成にあたり、議会からの政策提言や各委員会からの所管事務調査報告

書などは、どのように反映されているのか。

【答】議会からの政策提言については、本年1月からヒブワクチンの無料接種を開始し、当初予算においても計上している。また、各委員会の調査報告書に対しても、「木質バイオマス供給事業」等、多くの事業に反映している。

公契約条例

【問】市の委託業務や発注工事の際に、そこで働く人の報酬額の下限等を定める公契約条例の制定に取り組むべきと考えるが見解を。

【答】条例については、国の最低賃金法との関係などの課題もある。既に公契約条例を制定している野田市や川崎市の実施状況を十分把握するとともに、国や県、他市の動向も注視していきたい。

三北総合支所組織再編

【問】今回の組織再編による

登壇議員
【質問順】
(◎は代表質問者)

- ◆延岡きずな
 - ◎ 矢野 仁祺
 - 内田 理佐
- ◆友愛クラブ
 - ◎ 大金 賢二
 - 本部 仁俊
- ◆社民党市議団
 - ◎ 湯浅 啓祐
- ◆新政会
 - ◎ 中城あかね
 - 甲斐 正幸
- ◆公明党市議団
 - ◎ 西原 茂樹
- ◆日本共産党市議団
 - ◎ 白石 武仁
 - 平田 信広
- ◆無所属クラブ
 - ◎ 新名 種歳

市民サービスや職員の意識改革への影響は。

【答】税や福祉など、生活と密着した窓口業務の一本化と各支所に看護職を配置し、健康相談や指導の充実を図る。コーディネーターとしての職員の意識改革に取り組む。

コミュニティバス導入

【問】福祉教育委員会開催のシテイミーティングで、鯛名町から乗合タクシー導入の要望が出されたが、計画は。

【答】鯛名・赤水地区においては、民間バスの定期路線がある。本市ではこの路線への運行支援を行い、路線維持を図っている。今後の乗合タクシー運行については、市が民間バス事業者などと連携・協力し、市民のニーズを把握して、公共交通の確保に努めていきたい。

職員の給与体系

【問】市民の多くの方が、市職

員の給与が高いと言われる。市長は、民間企業経営者の感覚を行政に反映させると言われてきたが、この市民の声をどのように受け止めているのか。

【答】ほぼ毎年給与の引き下げを行い、職員の平均給与額は減少しており、市長に就任した平成18年と21年を比較すると、約7億5千万円減少している。給与制度については、国レベルで様々な検討がなされているので、それらの状況を見ながら、取り組んでいく。

新火葬場の建設

【問】市長の考える新火葬場建設の基本理念は。

【答】敷地内に本市にゆかりのある作家によるアート作品、ミニユメントを展示するなどの演出も検討し、「いのちの公園」としての空間づくりに努めたい。



入札制度のあり方

【問】入札制度は、市内業者に対する、公平性・透明性・利便性が考慮されていなければならぬ。以下4点に渡って提言する。①建物等の入札では、積算資料となる面積を表記②最低制限価格の公表③すべての入札において、最低制限価格を設定④金額の大きな工事の、予定価格公表の廃止。

【答】①の面積の表記は、数量の差異などからトラブルの事例もあり、これらを詳細に検証し、実施に向けて検討する。②の最低制限価格の公表は、県や他市の状況の調査、懸念される課題の研究をする。③のすべての入札で最低制限価格を設定することについては、研究している。④の予定価格公表の廃止は県も試行的に行っている状況なので、しばらく見守りたい。

公金の運用

【問】今後の公金運用は、利率の高い国債での運用も視野に入れることが必要では。【答】現在の政策金利は昨年度より低く、上昇の見込み

もないと予想する。今後は、効率的な運用を図る観点から、国債での運用の可能性を検討したい。

旧高千穂鉄道跡地

【問】鉄道の跡地利用は、できるところから、早急に活用計画を作るべきでは。【答】跡地活用については、市民の皆様からいただいた要望等を参考に、関係各課において、個別的に検討している。整備費用等も考慮しながら、具体的な活用策を取りまとめていきたい。



旧高千穂鉄道の鉄橋(中川原町)

歴史民俗資料館

【問】市当局は建設の必要性について認識されているが、今後、どう実現するのか。

【答】建設の規模ならびに建設費用や維持管理費等、十分検討を行い、方向性を示したい。

国勢調査

【問】平成22年国勢調査の速報値によると、本市は5年間で3984人減少しているが、人口減少の大きな要因と、その対処法は。

都市建設関係

未給水地域の水道整備

【問】北川町瀬口地区の水道整備計画は。

【答】少子化や雇用状況の低迷による若者の県外への流出が大きいと考える。企業誘致や地場産業の振興による雇用の確保をはじめ、地域医療の充実、教育環境の整備などの「新生のべおかプロジェクト」や「定住自立圏共生ビジョン」、さらに大学の活性化の取り組み等を積極的に進める。



【答】国の指導による簡易水道の統合整備完了後の平成26年度以降に取り組む。

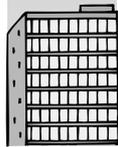
経済環境関係

メディカルタウン構想

【問】健康長寿、地域医療施策とどのように関連させるのか。【答】医療をキーワードに活力ある地域づくりや住民の健康と福祉の充実を目指す。医師をはじめとする医療関係者の魅力的エリアとなり、健康長寿や地域医療施策についても産業振興や人材育成と連動した成果を上げたい。

住宅リフォーム事業

【問】当初予算に住宅リフォーム商品券事業が計上されているが、その概要は。【答】厳しい経済状況改善のための緊急的な経済対策として、プレミアム付きの住宅リフォーム商品券を発行し、裾野の広い住宅投資を促進することで、地域経済の活性化と住居環境の向上を図



る目的で実施するものである。工事額20万円以上、100万円を上限として、商品券発行総額は10億円を予定している。

農山漁村集落の存続

【問】農林水産業の役割は、農地や森林の多面的機能や生物多様性、国土保全がある。守り手である農林漁家に対し、環境支払制度の充実が中山間地の集落存続につながるのでは。【答】中山間地域等直接支払制度が国民に広く理解されるよう努め、国に制度の拡充を働きかける。

岡富墓地の管理

【問】お参りするのに、大変苦勞している、何とかしてほしいとの声がある。新墓地の建設、現墓地の駐車場増設の考えは。【答】新墓地については、後期の長期総合計画の中で、調査研究をしたい。現墓地での駐車場の増設は、用地の確保が難しく困難である。

延岡駅及び周辺施設整備

【問】延岡駅はJR、バスなどの交通結節点としての機



能を有している。その整備によって、中心市街地の再生と連動した公共交通機能の充実をどう進めるのか。

【答】駅舎や東西自由通路のバリアフリー化をはじめ、現在、JRとバスの別々の待合所を総合待合所として整備する。平成23年度に関係機関との合意形成を図る〔仮称〕駅まち会議をスタートさせ、各施設を一体的に整備し、本市の公共交通プロジェクトの核とする。

農林水産業の振興

【問】農林水産業振興ビジョンに、「もうかる農業と、「有機農業」をどのように位置づけしたのか。

【答】担い手育成や農業生産基盤の整備、新たな振興作物や少量多品目生産の推進、直売所を活用した地産地消、中山間地域の特性を活かした農業の推進等に取り組み有機農業は、減農薬・減化学肥料栽培により、環境にやさしい農業を推進することで、安全安心な農産物の生産支援に努める。

福祉教育関係



保育料未納対策

【問】保育料未納額と未納に対する対策は。

【答】未納額については、平成21年度分の決算で、1671万5890円。20年度から徴収体制の強化を図るため、徴収業務の一部を民間に委託している。

子ども・子育て新システム

【問】国が検討しているこの制度は、国や市町村の公的

責任を大幅に後退させるものである。保護者の勤務状態や経済的理由によっては、子どもの受ける保育に大きな格差が生じるが、この保育制度の見解は。

【答】保護者の負担のあり方や保育時間などの課題もあり、十分な保育時間を確保し、子どもの発達過程を考慮した保育が保障されるかなどの懸念をしている。新システムについては、関係者の合意形成や地方への財源の

教育資金融資事業

確保が不可欠である。

【問】ここ4年間の実績は、融資枠に対し、ほぼ100パーセント以上の利用が続いている。今後の融資額は。

【答】一人当たり250万円だが、今日の教育事情を踏まえ、増額を希望するケースも少なくない。平成23年度から融資額を300万円へ増額したい。

そろばん特区

【問】そろばんは、計算力の向上はもちろん、右脳の発達や集中力の向上など様々な教育効果があると言われている。そろばん特区を本市にも導入できないか。

【答】そろばんは、計算力の向上以外にも学習に対する意欲や持久力の向上、脳の発達など多くの教育的効果があると考えている。特区については、授業時間数の確保という問題もあり、今後十分に検討したい。

ヘルストピア延岡

【問】市民の健康増進施設としての位置付けと評価は。

【答】市民の健康づくりはも

とより介護予防、医療費抑制等幅広く貢献しており、県北地域の大変貴重な健康増進施設と認識している。今後とも、安心安全を優先した施設改修等を行い、「健康長寿のまちづくり」の中で更に重要な役割を担う施設として、活用を促進していきたい。



ヘルストピア延岡

西階プールの改修計画

【問】西階プールは、県北で唯一の日本水泳連盟公認のプールであるが、屋外のため年間の利用が限られており、老朽化も進んでいる。温水プール等への改修計画は。

【答】引き続き、公認プールとして適宜補修等を実施し、維持管理に努める。温水プールの整備については、整備手法を研究していく。

がんばろう東北！

東北地方太平洋沖地震の被災地へ100万円の義援金

東北地方太平洋沖地震の被災者に対し、市議会議員も個人として義援金を出し合い、まとめて被災地に送ることになり、全員から総額100万円が集まりました。この義援金は、兄弟都市である福島県いわき市や、本市を春のキャンプ地としているJリーグベガルタ仙台の本拠地である宮城県仙台市などに送られました。

【用語解説】

【注1】中山間地域等直接支払制度：農業者が負担している生産費の一部を交付金により国・県・市町村が共同で負担し、農業者に直接支払う制度。

【注2】日本水泳連盟公認のプール：（財）日本水泳連盟プール公認規則（2010）によれば、連盟の「競技会および海外交流規則」に定める公式競技会又は公認競技会に使用する競技場として、連盟が適格と認め公認したプールのこと。国内基準プール、国際基準プール、標準競泳プールなどがある。



各 常任・特別 委員会 調査報告

延岡市議会では、4つの常任委員会と3つの特別委員会が各テーマに基づき年間を通して調査研究し、市当局に対して次のような要望や提言を行いました。

常任委員会 所管事務調査報告

総務財政委員会

【調査事項①】「産学官連携によるまちづくり」
産学官連携の「学」については、大学のほか、将来を担

う人材育成の取り組みが行われる高校など学術的な資産なども視野に入れ、連携を進めるよう要望する。

今日の産学官連携のケースとして注目を集めている「メディアカルタウン構想」があるが、取り組み際には、先日、県が策定した「東九州メディアカルバレー構想」との関連を考慮し、メディアカルタウン構想の存在価値を高めるため、PR等に積極的に取り組んでもらうよう要望する。

また、産学官それぞれが同じ方向を向いて取り組める環境づくりに努めていただき、私たちの住んでいる県北地域が、これらの構想をリードしていく気持ちで取り組んでいただきたい。

【調査事項②】「都市間交流の推進」

市においては、都市間交流に関する活動をより高めていただき、市内にある交流団体をまとめるシステムづくりに努めていただくよう要望する。

また、これまでの市の補助のあり方を見直し、本来に他都市との交流を望んでいる人に補助できるようなしくみの構築や、ホームステイ受入れ家庭への補助など、実情にあった補助を行っていた、大きく要望する。

都市建設委員会

【調査事項①】「今後の都市整備のあり方」

都市計画マスタープランの策定作業においては、市役所全体を取りまとめる組織を編成し、本市における短中期的な都市計画と社会資本整備に関するガイドラインとして、実効性の高い取り組みになるよう要望する。また、地域のまちづくりについては、市民協働の意識のもと、地域の個性を活かしたまちづくりを支援していただきたい。

【調査事項②】「下水道施設の整備と経営基盤安定化について」

上下水道事業は、市民生

活に直結しており、円滑に推進していくためには、市民の十分な理解と協力が不可欠である。市役所の担当部署では、今後、一層の理解と協力が得られるよう、子どもから大人まで、市民が

上下水道事業に関心を持つための学ぶ機会を増やし、市民ニーズを把握するため、アンケートを実施するなど、積極的な広報活動や取り組みを推進していただきたい。

また、今後、上下水道事業は厳しい財政状況等が想定されるが、これまで以上に経営の効率化に取り組みとともに、施設の適正な維持管理・効果的な施設更新を計画的に進め、安定的な事業経営に努めていただきたい。

経済環境委員会

【調査事項①】「環境に配慮した自治体づくり」

本市が地球環境保全都市として、今後さらに環境に配慮した自治体としての取り組みを進めていただくよ

う要望する。特に、環境問題の解決については、市民や事業所と行政の協力が不可欠であるため、今後の施策推進に当たっては、連携強化を一層努めていただきたい。

また、環境意識の底上げを図るには、子どもの頃からの意識づけが必要であるため、現在実施している学校における環境教育については、今後とも教育委員会と連携を強化しながら、取り組みの拡大を図っていただくよう要望する。

【調査事項②】「食を活かした観光振興について」

現在、テレビ・雑誌などによるグルメ情報の発信、また、B-1グランプリ開催など、人々の「食」に対する関心は高く、本委員会としては、現在の取り組みを着実に進め、食を活かした観光振興の推進を要望する。

なお、推進に当たっては、情報発信を効果的に使うことが必要であり、その効果が最大限に発揮されるよう、本



市出身のメディア関係者を活用した情報発信の活用や、延岡駅周辺整備事業にあっては、観光客が本市の食の情報に関する情報を簡単に分かりやすく入手できるような案内表示システムの整備についての研究を要望する。

また、新商品開発については、できるだけ地元食材を活用したもので、本市に來なければ絶対食べられないと言われるようなものにし、その商品を市民の方にも広く知ってもらうことの促進についても取り組むよう要望する。

福祉教育委員会

【調査事項①】「地域福祉の推進について」

地域福祉を安定的・継続的に推進していくためには、地域住民一人ひとりが自らの問題として福祉への理解と関心を高めていくことが重要である。そのため、地域住民が必要とする福祉に関する様々な情報提供を行うとともに、多様な媒体での

広報・普及活動の実施により、地域における住民の福祉活動への参加・交流の機会拡大に努めるよう要望する。

また、多様化する地域の福祉課題の解決に当たっては、各地域において、民生委員児童委員、地区社協、ボランティア、NPO、社会福祉法人等、様々な福祉の担い手相互の連携体制を深めることにより、地域の福祉力の強化やきめ細かな福祉活動の実現を目指し、さらなる担い手の拡大を図るよう要望する。

民生委員児童委員については、その活動の困難さの理由の一つに、民生委員児童委員に対する住民の認知度の低さが指摘されているため、あらゆる機会を活用して、民生委員児童委員制度や実際の活動内容などを地域に広く発信し、活動への理解促進や信頼関係づくりに努めるよう要望する。

【調査事項②】「子どもの成長と生きる力について」

「生きる力」は、確かな学力、

豊かな心、健やかな体を示しており、長期的な視野に立って育んでいく必要があるが、学校だけでなく、地域と一体となつて培っていくべきものである。そのためには、児童生徒一人ひとりの職業観や勤労観を育て、自己の個性を理解し、将来について考える力を育成する必要がある。そこで、本委員会は小中学校における児童生徒の発達段階に応じた計画的・系統的なキャリア教育の推進を図っていたべくよう要望する。

さらに、子ども達が郷土を愛する心を深め、地域社会の発展に貢献する態度を養うことは、自身の人間形成においても極めて重要であると考える。そこで、地域に存在する多様な資源を活きた教材として活用し、郷土を担う人材の育成に努めるよう要望する。

また、地域の歴史、文化、産業といった地域資源を外部に向けて発信できる人材を育成するため、郷土教育の充実をより一層推進して

いただくよう要望する。

特別委員会 調査報告

議会改革 特別委員会

本特別委員会では、これまで約4年間にわたり、先進地視察なども参考にしながら議会改革についての協議・検討を行ってきた。

その結果、現在、政策提言議員協議会の設置やシテイミーティング/議会活動報告会の実施、議長選挙における立候補制導入などをはじめ、さまざまな取り組みが行われてきた。

今後は、これまでの改革を基礎にして、さらに議員の質の向上を図り、また合わせて、議会としての市民に対する責任も明確にするための礎づくりが、必要であり、そのためにも本市議会としての議会基本条例を制定する必要があると考えている。

この議会基本条例は現在、全国の多くの議会においても制定されている状況にある。行政へのチェック機能を充実させ、議員間の議論による議会の合意形成が図られ、議員の政策形成能力が育成され、議会改革の後退を防ぎ、議会への住民参加・協力の道を開くことにつながるためである。

このことから、本特別委員会は、次期改選後、構成される新たな議会において、議員間の合意形成が効果的に図られる体制づくりをすみやかに整備し、その後、十分な調査検討や議論を行いながら、議会の最高規範制定に取り組んでもらうことを全委員一致により確認した。

広域行政対策 特別委員会

今年度は、定住自立圏構想や広域連携に関する調査や、本特別委員会と西臼杵3町議会の代表者らと合同会議を開催するなど、広域行政に関する調査に取り組



んできた。

本特別委員会では、定住自立圏構想の取り組みに関して構想を実践に移すには、広大な圏域、多くの機関との調整、限られた予算など多くの課題があるため、圏域の他市町村との連携を強化し、外部の意見も取り入れながら「人」の交流を活発にすることが必要であり、引き続き本市の動向を調査・研究する必要があると考えている。

次に、広域観光の取り組みに関しては、施策の推進に際して、他地域にはない独自の観光商品や観光ルートの開発、高千穂町の観光客の誘引、高速道路など交通アクセスの整備を民間と連携して取り組んでいくことが必要であると考えている。この取り組みにより、地域の魅力を高めることが本市にとって大変重要であり、引き続き調査・研究していかねばならないと考えている。

最後に、合同会議については、昨年度に引き続き、高

千穂町、日之影町と五ヶ瀬町の正副議長と委員会代表に参加していただいた。広域観光について意見交換する中で、より広い視野に基づき意見を聞くことができ、非常に有意義な時間を共有できたと感じている。

今後とも西臼杵3議会の各所管委員長との合同会議を開き、広域的な連携につながる調査・研究を行いたいと考えている。

地域医療対策 調査特別委員会

本特別委員会は平成21年5月に設置され、「医師の働きやすい環境づくり」「市民協働の地域医療づくり(市民啓発の促進)」を基本方針として、本市の地域医療の諸問題の調査・研究に積極的に取り組んできた。

市は「延岡市の地域医療を守る条例」の中で、市・市民・医療機関の果たすべき責務を明確にし、宮崎県北の地域医療を守る会は、「地域医療を守り健康長寿を目指す

市民宣言」を市民総意のもとに宣言した。市と市民団体との協働により、軽症患者の安易な夜間や休日の救急受診の自粛を啓発することで、県立延岡病院では救急患者数が減少するなど、一定の効果をあげている。当局においては、今後も引き続き、地域医療体制の整備に向けた取り組みを一層強化していただきたい。

本市を中心とした県北地域の住民にとっては、県立延岡病院の1日も早い正常化が待たれるところである。限られた医療資源を大切にするために、地域全体の医療機関が連携し、かかりつけ医制度を定着させ、県立延岡病院の勤務医の過酷な労働条件を改善しなければならぬ。以上のような状況を踏まえて、本市議会としても、地域医療の問題については、引き続き調査・研究を続けていくべきであると考えている。

本会議は市民の皆様 公開されています

定例会及び臨時会の本会議は傍聴することができます。

市役所3階の傍聴席から、明日の延岡を創造する議会と市当局との活発なやりとりを見てみませんか。

また、一般質問の様子はケーブルテレビでも生中継されていますのでご覧ください。

その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

傍聴席 約60席(車いす用3席あり)
テレビ放映(ケーブルメディアワイワイ)
デジタル111ch、アナログ99ch
会議録検索システム
www.kensakusystem.jp/nobeoka/index.html

編集後記

4年間、議会報をお読みいただき誠にありがとうございました。各会派から選ばれた委員によって、市民の皆様楽しく読んでいただく内容にしたいと研究しながら発行してきましたが、多少でも市政を理解していただくのに参考になったでしょうか。

3月議会を最後に、議会報編集委員会を解散しました。次は、選挙で選ばれた新しいメンバーが編集にあたります。

季節は一年を通して一番穏やかな時期ではありませんが、東日本大震災の被害に胸が痛みます。一日も早い復興を願いながら最後の挨拶といたします。

議会報編集委員一同

次の定例会は6月に予定されています。
第48号は8月初旬に発行する予定です。